

障がい者 福祉情報

170号 2025年8月

編集・発行

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

〒816-0804 春日市原町3丁目1番地7

クローバープラザ

TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

<https://www.fuku-shakyo.jp/kikanshi/fukushi-back/>

「東京2025デフリンピック」開催について

国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）の主催で4年に1度開催される世界的な規模のきこえない・きこえにくい人のための総合スポーツ競技大会です。東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、夏季・冬季含めて、日本初開催となります。

デフ（Deaf）とは英語で「耳がきこえない」という意味で、コミュニケーションは国際手話により行われ、オリンピックとほぼ同じルールで実施されます。

大会期間：2025年11月15日～26日（12日間）

大会エンブレム

①「手」

- ・デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表現
- ・デフリンピックを通して、競技と話題に「触れて」欲しいという想いを込めた。

②「輪」

デフリンピックに「触れた」ことで、少しずつお互いに交流やコミュニティが「輪」のように繋がっていくことを表現



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

③「花」

- ・輪が広がった先には、「新たな未来の花が咲いていく」という意味を込めた。
- ・桜の花弁をモチーフ

④「色」

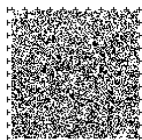
世界中から沢山の人が集まる大会なので、赤、黄、青、緑の色で多様性を表現

デフリンピック 全日本ろうあ連盟スポーツ委員会
二次元コード



もくじ／通巻170号

- ・東京2025デフリンピック開催について 1～5
- ・福岡県からのお知らせ 6～8
- ・ほんだな 8



大会ビジョン

1

デフスポーツの
魅力や価値を伝え
人々や社会とつなぐ

2

世界に、
そして未来に
つながる大会へ

3

“誰もが個性を活かし
力を発揮できる”
共生社会の実現

第25回夏季デフリンピック
競技大会 東京2025



・また、あらゆる人が協働した大会運営や子どもたちの参画など、多様な視点を大切にした大会運営をめざします。

・デフアスリートを主役に、最高のパフォーマンスを発揮できるよう大会準備を進め、その姿を通じて、本来、スポーツが持っている素晴らしさとともに、デフリンピックやデフスポーツの魅力や価値を発信し、普及・啓発に努めます。

1. デフスポーツの
魅力や価値を伝え
人々や社会とつなぐ

2. 世界に、そして未来に
つながる大会へ

3. 「誰もが個性を活かし
力を発揮できる」
共生社会の実現

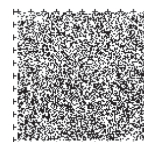
・大会開催を機に、デフリンピック・ムーブメントとして、デフ

このような取組を通して、国籍や障がいのあるなしに関わらず、誰もが心を通わせることのできる街・東京の魅力を感じてもらい、世界との絆を深めていきます。

・大会を通じた手話言語の理解・普及・拡大など従来からの情報保障の推進・強化に加え、デジタル技術を活用した、新しいコミュニケーションツール等の開発、社会への普及を促進します。

スポーツやろう者の文化への理解を促進し、障がいのある人となし人とのコミュニケーションや心・情報・街のバリアフリーをさらに推進します。

・このムーブメントを通して、互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会づくりに貢献します。





提供：一般社団法人日本デフ陸上競技協会・一般社団法人日本デフ水泳協会・一般財団法人全日本ろうあ連盟

視覚的保障

（音や審判の合図がきこえないという、選手にとって不利な状況を視覚的に補うこと）

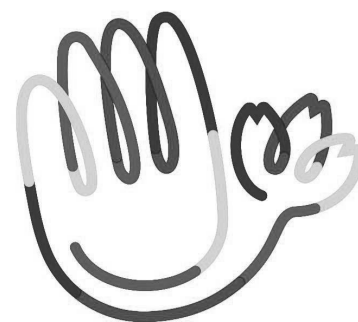
●デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスタートの音は、フラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。

●サッカーやラグビーでは、審判が笛を吹くとともに、旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。

●また、さまざまな視覚的な競技でフラッシュランプなどを活用しています。

このような、さまざまな視覚的な工夫をした競技環境がデフリンピックでは整えられています。

大会エンブレム



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

【制作者のコメント】

・人々の繋がりを意味する「輪」をテーマとしている。
・デザインでは、デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表し、デフリンピックを通して競技と話題に触れ、互いの交流やコミュニケーションが「輪」のように繋がった先には、新たな未来の花が咲いていくことを表現。花は桜の花弁をモチーフとしている。

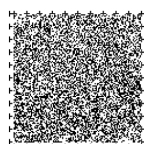
みんなで大会を
盛り上げる

大会の意義や魅力を伝える

応援アンバサダーなどを通じ、大会の意義や魅力を伝える。大会エンブレムを用いた広報PRツールの活用、デフアスリートと子供たちとの交流や競技体験など、大会への関心を高める取組を幅広く展開します。

多くの都民・国民に大会に参画してもらえよう、デフリンピックの歴史や特徴、魅力などをわかりやすく伝えらるとともに、大会への関心を高める取組を幅広く展開していきます。

また、大会の持つメッセージなどを効果的に発信するため、同じく2025年に東京で開催される世界陸上競技選手権大会とも、相乗効果を発揮しながら取り組んでいきます。



共生社会について考える

ろう者の文化を身近に感じてもらえるよう、デフアスリートの活躍やろう者の社会活動を紹介します。

手話単語を簡単に学べる動画やデフリンピックなどをテーマとしたハンドブックを制作し、様々な機会に活用・発信します。

大会を通じてデフスポーツやろう者の文化への理解を促進させ、障がいのあるなしや年齢などに関わらず、誰もが互いの違いを認め、尊重しあう社会への歩みを進めていきます。



サポートの輪を広げる

競技団体、区市町村、当事者団体などと連携した取組の展開や、寄附・クラウドファンディングなど、より多くの人々が参画し、大会の成功に向け、関係団体や区市町村などと連携した取組を展開するとともに、より多くの人々が参画し、みんなで力をあわせて大会を創っていくための仕組みづくりを進めていきます。



写真：競技団体提供

競技数…21競技

- ★ 陸上
- ★ バドミントン
- ★ バスケットボール
- ★ ビーチバレーボール
- ★ ボウリング
- ★ 自転車
- ★ (ロード・マウンテンバイク)
- ★ サッカー
- ★ ゴルフ
- ★ ハンドボール
- ★ 柔道
- ★ 空手
- ★ オリエンテーリング
- ★ 射撃
- ★ 水泳
- ★ 卓球
- ★ テコンドー
- ★ テニス
- ★ バレーボール
- ★ レスリング(フリースタイル・グレコローマン)



写真：(一社)日本デフ水泳協会提供



東京2025デフリンピック 開催に向けて

一般財団法人全日本ろうあ連盟
スポーツ委員会

委員長 太田陽介 氏

月刊福祉5月号掲載

11月15日から26日に、東京都をはじめ、福島県、静岡県の各競技会場で、21種の競技が行われます。国内外から選手の家族たちや多くの応援者が集まることが予想されるため、東京周辺のホテルや交通機関などのバリアフリー化として、コミュニケーションが円滑になるリアルタイムAI通訳の機器などの準備がすすめられています。



写真：（一財）全日本ろうあ連盟提供

外国の選手やスタッフを迎える国際空港や交通機関および公共施設などの利用には、アクセスしやすいように、ピクトグラム掲示、英語の電光掲示板、案内所の手話、筆記による対話などを整備しています。また、災害など緊急時に状況や避難など重要な情報は、アナウンスを可視化して光警報装置（フラッシュライト）を設置するとともに、緊急情報を文字化し

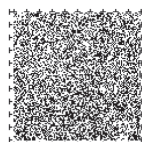


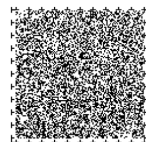
写真：全日本ろうあ者空手道連盟提供

て表示するように要請しています。デフスポーツの応援では、活躍する選手たちに声をかけてもきこえないため、国旗や応援旗などを大きく振る方法がよく見られます。それは各競技会場がまるで嵐のように盛り上がって見えて、視覚的に楽しく観戦できる見込みです。

また、競技の勝敗やメダル決定などの際の拍手の音が選手には届かないので、代わりに頭上で手を回しながら、手のひらをヒラヒラさせる方法は、会場が一体となつてコミュニケーションの壁を越えて喜びを分かち合う感覚ができる瞬間です。

このような大会を通して真の共生社会につなげることが重要であり、今後もデフスポーツの応援にぜひ来てくださるようお願いしています。





お知らせ

県庁などの窓口で遠隔手話通訳サービスを行っています

県庁や県の出先機関等の窓口では、手話が必要とする来庁者が、円滑に意思疎通を行うことができます。遠隔手話通訳を行っています。

来庁者のスマートフォンで窓口に設置された二次元コードを読み込み手話通訳者につながります。

詳しくは、県ホームページ

(二次元コード)をご覧ください。



二次元コードを利用した遠隔窓口通訳



窓口に設置した二次元コードを読み込み
※特別なアプリ等をダウンロードすることなく利用できます。

民間事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されています

令和6年4月1日に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者による合理的配慮が義務化されています。企業・事業者の皆さんが法の趣旨を正しく理解し、サービス提供の現場で適切な対応ができるよう、研修や仕組みづくりが必要です。

県では、障がいのある人への合理的配慮ガイドブックや動画を県ホームページやYouTubeなどで公開しています。研修会や学習会、啓発イベント等、様々な機会です。

■二次元コード



「障がい」に関する基礎知識や合理的配慮のポイントをお伝えします

企業・事業所が主催する研修会等に、障がい者差別解消専門相談員が講師として出向き、「障がい」に関する基礎知識や合理的配慮のポイントをお伝えします。

■日時

平日・土日・祝日(年末年始を除く)10時～20時まで

■会場

会場の手配、使用料等は、申込者負担

※会場は、福岡県内限り

※座学形式

■講師派遣費用

交通費の支給や謝礼等、不要

■申込先

福岡県障がい者差別解消専門相談窓口

TEL 092-643-3143

FAX 092-643-3304

メール sabetsukaishyo@

pref.fukuoka.lg.jp

「フクオカ・パラスター・プロジェクト (F-STAR)」パラスポーツ体験会・発掘プログラム測定会を実施します！

福岡県パラスポーツタレント発掘・育成事業「フクオカ・パラスター・プロジェクト」は、障がいのある人を対象に、本県から世界で活躍するパラアスリートを輩出することを目的に実施しています。

この度、パラスポーツ体験会と、未来のパラアスリートを発掘する測定会を実施します。皆様のご参加をお待ちしています。

【パラスポーツ体験会】

障がいのある人とそのご家族、パラスポーツに興味のある人が、様々なパラスポーツを体験できる場です。

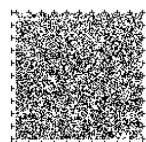
■日程

令和7年9月7日(日)

■会場

クロアバープラザ

(春日市原町3丁目1番7号)



■ 内容

① パラスポーツ競技体験（車いすテニス、ゴールボールなど）

② 握力やボール投げなどの体力測定

■ 申込方法・参加費

申込不要・無料

■ 二次元コード

詳細は左記二次元コードをご覧ください。



<https://www.f-psa.jp/events/detail/300>

【未来のパラアスリートを発掘する測定会】

小学6年以上の障がいのある人を対象に、測定会（1次選考）と相談会を実施します。

■ 日程

令和7年

10月11日（土）

■ 会場

クローバープラザ

（春日市原町3丁目1番7号）

■ 内容

20m走、ボール投げ、握力などの基礎体力測定

■ 申込方法・参加費

左記二次元コードをご覧ください。

無料

■ 申込二次元コード



<https://www.f-psa.jp/events/detail/311>

■ 問い合わせ先

一般社団法人福岡県障がい者スポーツ協会

TEL 092-582-5223

FAX 092-582-5228

ホームページ

<https://www.f-psa.jp>

まほうのART

FUKUOKA

GALLERY事業

県では、文化芸術活動を通じて

障がいのある人の収入向上・社会

参加を推進するとともに、障がい

のある人が持っている多様な能力・才能に触れる機会を県民に提

供することを目的に、障がいのあ

る人のアート作品（まごころア

ート）のレプリカ及び画像データを有料でレンタル・販売し、その料

金の一部（30％）を制作者へ還元

する取組を行っています。

また、レンタル作品の一部は、県庁舎（1階ロビーや各階エレ

ベーターホール）や県有施設（もち文化センターや九州芸文館

など）で展示しています。お立ち寄りの際は、ぜひお楽しみくだ

さい。

※詳細については、まごころア

ート FUKUOKA GALLERY

RY事業ホームページをご覧ください。

ださい。

<https://fukuoka-artrental.org/>



「福岡県障がい者雇用開拓事業」について

県では、一般の企業等で働きたい障がいのある人と、障がいのある人を雇用する、または雇用を検討している企業を支援するため、相談から職業紹介、就職後のフォローアップまでワンストップで行う「職業紹介事業」を実施しています。

利用料は無料です。まずはお気軽にご相談ください。

■ 事業ホームページ

<https://fukuokapref-navi.jp/>

■ 二次元コード



■ 問い合わせ先

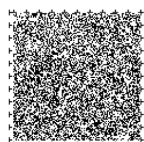
事務局（株式会社総合キャリア
トラスト）

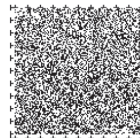
TEL 092-733

-3925

FAX 092-733

-3926





障がいのある人に配慮した県広報のご案内

県では、県の施策やイベント情報などをお知らせする各戸配布広報紙「福岡県だより」の録音版・点字版や、県の魅力などを掲載したグラフ誌「グラフふくおか」の点字版「点字ふくおか」など、障がいのある人に配慮した情報発信を行っています。

これらの配布を希望する人は、次の申込先までご連絡ください。

■「福岡県だより」録音版

(年6回発行)

○形態

音声CD版

CDデジター版

(読取専用機が必要)

○申込先

福岡点字図書館

TEL 092-584-3590

FAX 092-584-1101

■「福岡県だより」点字版

(年6回発行)

■「点字ふくおか」

(年4回発行)

○申込先

福岡県盲人協会

TEL 092-923-6336

FAX 092-923-6339

【問い合わせ先】

福岡県県民情報広報課 広報係

TEL 092-643-3102

FAX 092-632-5331

ほんだな

福祉情報センターでは、福祉に関する図書・DVDの閲覧・貸出を行っています。

●利用時間 9時～17時

●休館日 月曜日(祝日の場合は翌日・第4月曜日は除く)

●貸出 図書・ビデオ・DVD

合計10点まで

※貸出の際は、クローバープラザ

利用者カードが必要です。

※遠方の方や外出が困難な方のために配送での貸出返却も行っています。(送料実費負担)

●貸出期間 2週間以内

ガイドヘルパーが感動した驚きのチャレンジ精神

村山 茂 著

出版…ごま書房新社



視覚障がいがある10名の「チャレンジ」！パラリンピックをめざすマラソンランナー。パソコン教室、講師の方も視覚障がい者です。筆・三味線のお師匠さん、定期演奏会も。78歳で博士号80歳で登山…など、10名の「チャレンジ」！健康者にも知っておいてほしい。ガイドヘルパーが体験した30のエピソードです。

障害者差別解消法と実務対応

水田 進 著

出版…中央経済社



障害者差別解消法とは何か、不当な差別的取扱いとは何を指すのか、合理的配慮の提供とはどのようなものか、どのような環境整備を企業は求められるのか、などといった障害者差別解消法の内容と同法への実務対応をわかりやすく解説しています。

●問い合わせ先 福祉情報センター

〒816-0804

春日市原町3丁目1番地7

クローバープラザ東棟2階

TEL 092-584-3330

FAX 092-584-3319

